

「おたがいさま」で、25周年

Kanaibara

その人らしい暮らしの実現

この言葉は、かないばら苑が、いつも身近に掲げてきたケアの理念です。 施設や在宅で暮らす方へのケアを示していますが、個別ケアにとどまらず、 地域包括ケアや地域共生社会の理念としても位置づけています。

その人らしい暮らしは、 利用者本位のサービスから生まれます

施設では、集団で一律に行うケアを良しとせず、 個別ケアを志向してきました。在宅ケアも同様に、 一人暮らしでも、家族との暮らしでも、 自分らしく暮らすお手伝いをしてきました。

社会福祉法人として地域のセーフティネットの役割を果たします

周りの協力があっても、当たり前の暮らしが できなくなる事態があるのです。誰もが住み慣れた 場所で暮らせるよう、ひとりも見過ごさないケアを 地域と共に取り組んできました。

特別養護老人ホーム金井原苑が歩みを始めたのは1995年5月1日のことでした。 高齢者が安心して人生の仕上げの時期をその人らしく暮らせることをめざして、私たちができることを、 地域の方々の協力をいただき精一杯やってきた25年間でした。 まだまだ、地域のためにやらなければならないことはたくさんあります。

次の一歩に向かってスタッフみんなで地域包括ケアのためにできることを考え、「おたがいさま」の精神で、 かないばららしい福祉の形を追及してまいります。地域共生社会をめざして、自分らしさが多様に交じり合う 感性豊かな麻生区の暮らしに寄り添います。





「おたがいさま」の精神で、 かないばららしい福祉の形を追求してきた25年

月間の利用者数

入居者数/延 3,034名

在宅利用者数/延 2,185名

841 388 176 419

相談担当数/ケース 461名

1996 1997 1998 1999 2001 2002 2003 2004 2007 2008 2010 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 1995 2000 2005 2006 2009 2011 特別養護老人ホーム金井原なおないばら通信発刊 地域交流「麻生ミニコンサー」 グループケア計画のための檜風呂の導入在宅介護支援センター市単配食事業者浪 特養グループ編成の変更(あじさい ←すみれとさくらの合併)「地域の学校」介護職員初任者研修通学コースを開始する 地域交流「麻生ミニコンサートパート2」こだまの会ボランティア開始/翌年ポピー 特養グループケア開始(とまと・きぼう・すみれ・ショ1階デイサービスのガーデンテラス完成 田園調布学園大学「ミニたまゆり」参加/福祉機器の積極的導入を開始/熊本震災職員派遣 かながわベスト介護セレクト20表彰/優良介護サー 片平地域包括支援センターを栗平駅前に移転 麻生福祉祭り参加 初めての夏祭り 地域交流「麻生ミニコンサート」開催 介護保険事業所として事業を開始する/短期入所の定員を20名から16名に、介護老人福祉施設の定員を80名から84名に変更する 特別養護老人ホ 霊安室を改装し、 ロゴマーク完成(若葉マーク) 特養看取りケア取組開始 秋まつり開催/研修室を活用した地域交流「真向法体操教室」開始片平地域包括支援センター・介護予防支援事業所、予防短期入所生活介護事業、予防通所介護事業を開始する 苑内に併設して地域密着型認知症対応型通所介護事業「桃の木停」を開始する 昭和音大音楽療法 通年実習受入開始 短期入所の定員を16名から12名に、介護老人福祉施設の定員を94名から98名に変更す 片平町内会夏祭り昔遊びに参加/家族懇談会「平穏死のすすめ」石飛幸三講師 東日本大震災:義援金・支援金・職員派遣・被災者受入・出張レクかわさき健康応援隊(南三陸13回訪問) 麻生区地域包括支援センター担当エリアの変更に伴い片平包括に岡上エリア加わる 職員クラブ開始/かわさき健幸福寿プロジェクトモデル事業より参加 訪問介護事業「かないばら苑へルパーステーション」を被の木停予防認知症対応型通所介護事業を開始する 特養フロア長制開始/あさお 予防通所介護を閉鎖/市民向けの歳以上対象の口コモチャレンジ体操開始訪問看護事業「かないばら苑訪問看護ステーション」を開始する/かながわ高齢者福祉研究大会優秀賞 「地域の学校」暮らしサポー ばら苑ロー 神奈川県介護・生活支援ロボット普及推進協議会活用研究会参加 かながわベスト介護セレクト20表彰/優良介護サービス事業所(かながわ認証)「地域の学校」実務者研修かないばら学校開始/ラン伴2019+あさお運営参加川崎市認定生活困窮者就労訓練事業/テクノエイド協会 介護現場と開発企業の意見交換実施事業受託 新型コロナによりボランティア活動縮小実施 ボランティア感謝祭開催 ミニ文化祭とバザー 「多摩川に桜を植える会」から江戸彼岸桜の寄贈(デイ入り口前) 楽笑会ボランティア開始/社協チャレンジボランティア開始 地元からの寄付で地域用車両「せきどう号」購入 テイサービス日曜日営業を開始する 局石地域包括支援センタ あさお福祉ネット開始 |桃の木停ふるさわ」の単独型事業所を開設〈6月〉オープニング記念講座 男性介護者 内田順夫氏||桃の木停かたひら」の単独型事業所を開設〈10月〉オープニング記念講座「いろどり」代表 横石知二氏 護保険開始に向け要介護認定始まる 生区協働推進事業「人とサロンをつなぐ事業」開始 (ワイワイ)プロジェク 石地域包括支援センタ 護口ボットの導入支援および効果実証研究事業受託/かわさき基準モニター評価事業受託開始 A多摩農協・サラの会ボランティア開始 ムページ刷新、ブログ開設/リリムジカ(参加型音楽プログラム)開始 ズ&ローズ開始 、けやきの間へ/井戸水供給開始 金井原苑→通所介護事業、居宅介護支援事業の指定を受けるム金井原苑→介護老人福祉施設、短期入所生活介護事業の指定を受ける ム金井原苑事業開始 ●職員49:センター、在宅介護支援センター、 ム増築棟竣工、定員を84名から94名に変更する 市単配食事業者浪漫他と安否確認連携 トの結果「まなびinかないばら」と プコスモ ボランティア開始 を千代ヶ丘1 ター講座を開始する/介護職員初任者研修通信コースを開始する の事業を開始す 後の秋まつりへ発展 00 Tネット開始 -2-9に移転する の歌完成 ション」を開始する/かないばら通信10号 ● 職員 168 名 49名 車両4台 一、老人短期入所生活介護事業を開始する ・トステイ・あけび・りんどう・ひまわり) 車両26台 **4**000 **■** 3000 6 塩まさるコンサー **B B** € 菅原都々子コンサ じ 園まりコンサ 宇野ゆう子コンサート 城みちるコンサ **4** 2000 **1**000 デイサービス/ ガーデンテラス完成 特養/春の野点会 東日本大震災/ しんゆりフェスティバル・マルシェ いちご会/始まりのボランティア 10carats 朝日嘱託医~2019 特養/逆デイサービス初日! 餅つき/ 毎年恒例の鏡餅つくり 「白然な看取り」に感謝 苑庭でプロレス HEAT-UP 理事長 ●山口 正道 山口和子 山口一雄 苑 長 ● 中野 典雄 加藤啓 川村隆 山口正道

依田 明子

地域とともに

地域交流・地域密着から共生の時代へ。 ~困った時は、おたがいさま~

最初の頃は、地域の方々に「地元にあるから付き合うけど福祉のお世話にはならないよ」と言われることが良くあり、福祉に親しんでいただきたくて地域交流を始めました。通信の発行、麻生福祉祭り・幼稚園・小中学校行事・地元の祭り・初詣への参加、バザー・夏祭・盆供養・秋まつりの開催、ボランティアさんの募集などなど。25年間を通じて、多くのボランティアさんにご支援いただき、今では、年間延べ4000人の地域ボランティアの皆さんに支えられています。

地域交流が進み、地域からの依頼を頂き地域貢献の機会が増えました。法人全体では、小中学校の福祉教育や田園調布学園大学、昭和音楽大学との連携、町内会・自治会、区社協、地区社協、消防団、民児協の皆様、等と福祉の課題を通じて関わりも増え、地域交流から地域密着へと変化をして

いきました。市委託の在宅介護支援センターや地域包括支援センターでは、個別相談、災害時対応、介護予防、虐待通報、消費者被害防止など多岐にわたる課題に地域とともに取り組んできました。地域共生社会へ向かう今、「地域の学校」を開設し、地元で福祉の担い手を広げることに取り組みました。かないばら苑単体では解決できない地域課題は、分野や世代を越えて地域でつながり、少しずつでも解決に近づけることが分かりました。地域の助け合いの文化、農業文化、芸術の魅力を教えて頂き、「おたがいさま」の関係に魅了され「地域とともにある」喜びを知りました。コロナとともに暮らしも介護も変わるけれど、変わらない想いがあります。

かないばら苑は「困った時は、おたがいさま」の地域を目指して、地域をつなく、役割を担います。



地域の学校



「介護職員初任者研修」を開設し、地元で働く方、 地域の支え合いで活躍する方々に学ぶ機会を 提供しています。最近では、「実務者研修(介護 福祉士受験資格)」も始まりました。

サロン送迎運転ボランティア



2008年に「人とサロンをつなぐ移送推進協議会」を発足させ、福祉施設の車両を運転ボランティアに貸し出し、地域のサロン参加者の送迎を行う活動を始めました。今では麻生区社協や麻生区の後方支援で、あさおサロン送迎等推進会議が立ち上がりました。

ボランティア25年



かないばら苑では、暮らしの豊かさを支える部分を家族交流やボランティアという形で地域に託しました。苑内に、地域の風が吹き、心地よい緊張や刺激が届けられます。楽しく安全な生活の支えです。ボランティアさんは「介護の仕方」「介護の質の見分け方」「老いるということ」等々への理解が深まり、地域の福祉力が向上します。

